



豊田中だより

令和8年2月17日(火)

2月号

横浜市立豊田中学校

〒244-0815

横浜市戸塚区下倉田町950番地

☎ 045-864-8640

長い目で自分をみていこう

校長 鈴木 秀彦

2月も中旬から下旬になってきましたが、寒さが和らぐまでもう少しかかりそうです。2月は寒さだけでなく、いろいろなことに耐える時期ともいわれるそうですが、やがてそれぞれの春は必ずやって来ます。待ち遠しいものですね。

また、2月3日は季節の分かれ目とされている節分でしたが、生徒の皆さんの中にも豆まきをしたり、恵方巻を食べた人もいたのではないのでしょうか。思えば、昔は豆まきしかなかった気がしましたが、1900年代後半から全国的に恵方巻を食べる習慣が広まってきたとされています。その年の恵方(吉とされている方角)に向かって恵方巻を食べることをご利益があると言われていました。中学3年生にとっては丁度受験期で、合格祈願をしながら食べた人もいたのでは。

受験だけでなく、毎日勉強を頑張ってもなかなか思うような結果が出ないで耐えている人もいるのではないのでしょうか。そのうちにイライラしたり不安が募って、「努力しても無駄だよ」とか、「勉強は将来何に役立つの?」と思った人もいたと思います。先が見えないものはやたら長く感じたりもします。そんな時こそ『長い目でじっくり向き合うことが大切』だと思っています。

『長い目で見れば人生には無駄がない』と言ったのは、本田技研工業(二輪車と自動車が主力の会社)の創設者である本田宗一郎氏(戦前戦後に活躍した日本を代表するカリスマ実業家)の言葉です。本田氏は生前、「私の現在が成功というなら、それは過去の私の失敗が全部土台になっています。仕事は失敗の連続です。その99%は失敗の連続でした。そして、その実を結んだ1%が現在の私です。」とも言っています。

子どもだけでなく私たち大人も含めて誰もが、限られた時の流れの中で、「失敗」や「無駄」を感じてしまうことを繰り返しているかもしれません。しかし、その積み重ねがあればこそ、花咲くこともあると思います。

または積み重ねても花が咲かないことが多いかもしれません。人生はそういった失敗の連続でも、長い目で見れば、それが自分自身の糧や成長につながっていきます。本田氏もそう言っているのかもしれませんが。

『自分に負けずに生きていってほしい』とエールを送りたいと思います。

～保護者・地域の皆さま～

子どもたちの日々の成長と一緒に見守っていただきありがとうございます。今年も年度末の節目の季節がやって来ます。3月11日(水)には第55回卒業証書授与式、3月25日(水)には修了式を予定しております。それぞれの学年が先を見据えて輝きながら次へのステップに向かっていきます。今後とも引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

個別支援学級 合同学芸会

個別支援学級 武捨 裕子

1月28日に西公会堂で個別支援学級の横浜市合同学芸会が行われました。11月後半から約2か月間、カップスとダブルダッチのグループに分かれて練習を重ねてきました。カップスは、一人2個のカップを使ってリズムに合わせてカップを持ち上げたり、カップで音を出したり、間に手拍子を入れたりして4つのパターンを覚えました。その後は、みんなで合わせる練習に何回も取り組み、音楽に合わせてできるように練習を重ねました。初めの1分半は無音の状態、自分たちのリズムだけで隣の人にカップをまわしていくという緊張感の中で演技にチャレンジしました。ダブルダッチは、昨年度の取り組みをバージョンアップさせて、まず縄を回しながら2人が同時に跳ぶ演技から入りました。徐々にレベルを上げていく構成に今年は変え、トライアングル型に3本の縄を回し3人が同時に移動しながら跳ぶ演技は昨年以上の出来栄となりました。最後は、全員でダブルダッチを行い、昨年 tradition を引き継いだ演技を発表することができました。

本番直前の練習には、先生方にも体育館に見に来ていただき、いい緊張感の中でリハーサルを行いました。当日はもちろん緊張もありましたが、保護者の皆様、先生方の応援や、会場の手拍子もあり、楽しみながら最高の演技を披露することができました。応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。